

きたならし の えきまえどお

や かんしょうめい

北習志野駅前通りの夜間照明について

令和4（2022）年8月29日から同年10月4日まで開催されました、市議会定例会におきまして、市長提出議案11案、認定10件、議員提出議案2案、市民の方々からご提出頂きました陳情16件が、それぞれ審議・議決されました。以下では今定例会におきまして、はまの太郎が行いました質問の内、北習志野駅前通りの夜間照明の整備についてと、郷土資料館映像資料のバリアフリー／ユニバーサルデザイン化について、概要をご報告致します。

①北習志野駅前通りの夜間照明の整備について

質問 北習志野駅前団地の建替えのため、商店街JuJu きたならしの道路を挟んで反対側の歩道が、夜間照明がなく暗くなっている。歩行者の安全確保や防犯上、対応が必要では。

市答弁 建替えに際しては事業者が敷地内の歩道沿いにこれまで以上の照明を設置することとなっているが、駅に近く人通りが多い箇所でもあるため、夜間における歩行者の安全確保や防犯対策等の点から、暫定的に照明を設置する。



（地図データ@2022,Google）



夜間照明設置後

北習志野駅前ロータリーから船橋東郵便局や北習志野近隣公園（習志野台3-4-1）に向かう駅前通りの間、商店街JuJu きたならしの反対側の団地が現在建替え工事に入っていることはご存知の方も多くいらっしゃるかと思います。

これまで団地側の歩道は、団地敷地内の歩道沿いに設置されていた防犯灯によって夜間は照らされていましたが、建替えに伴って防犯灯がなくなったため、現在は暗い状況です。

夜間に歩道が暗いことは安全確保や防犯対策上も問題があることから、建替えが完了して新たな照明が団地敷地内に設置されるまでの間、今回暫定的に市が照明を設置する運びとなった次第です。

（照明写真：市提供）

②郷土資料館映像資料のバリアフリー／ユニバーサルデザイン化について

質問 郷土資料館（葉円台4-25-19）2階の映像資料は、解説の字幕や音声がついているかどうか映像によってまちまちである。視覚や聴覚に障害のある方々が理解しやすい様に改めるべきでは。

市答弁 館内のバリアフリー化の推進は重要だと考える。映像については視覚や聴覚に障害のある方々に配慮した内容となるよう、機器の更新に向けて、当事者の意見を伺いながら検討を進めている。



郷土資料館

平成30年に施行された「障害者による文化芸術の推進に関する法律」の第9条には、国と地方公共団体が取り組む基本的施策の1つとして、「障害者が文化芸術を鑑賞する機会の拡大を図るため、文化芸術の作品等に関する音声、文字、手話等による説明の提供の促進、障害者が文化芸術施設を円滑に利用出来るようにその構造及び設備を整備すること等の障害の特性に応じた文化芸術を鑑賞しやすい環境の整備の促進」が掲げられています。

市の文化施設や事業は郷土資料館以外にも多くございます。音声、文字、手話等の説明を付けることで、障害のある方々が鑑賞しやすくなるものは他にもないか、今後も検討して取り組んでまいります。

（施設写真：市提供）